平成15年3月期 個別財務諸表の概要

平成 15 年 5 月 20 日

上場会社名 ASTI株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6899

本社所在都道府県 静岡県

(URL http://www.asti.co.jp)

代 者 役職名:代表取締役社長 氏名:植平 幹夫

問合せ先責任者 役職名:経理部長 氏名:神谷 武司 T E L (0538)66-5577

決算取締役会開催日 平成15年5月20日 中間配当制度の有無 有

定時株主総会開催日 平成15年6月26日 単元株制度採用の有無 有(1単元:1,000株)

1.15年3月期の業績(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(1)経営成績

(百万円未満切捨)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
15年3月期	25,197 (17.5)	1,273 (92.4)	1,148 (63.0)
14年3月期	21,450 (13.4)	661 (39.2)	704 (37.0)

	/	当 期	純利	益	1 株当 当期純								売 経常	上	高率
		百	万円	%	F	円 銭	円	銭	9/	5		%			%
15年3	月期	703	(104.5)	103	78			11.2		9.	.2		4.6	3
14年3	月期	343	(57.3)	52	96			5.9		5.	.5		3.3	3

(注) 期中平均株式数

期中平均株式数 15 年 3 月期 6,632,070 株 14 年 3 月期 6,494,600 株 会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)配当状況

	•	1 株	当たり年間配	当金	配当金総額	配当性向	株主資本
			中間	期末	(年 間)	即当任的	配当率
	円	銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
15年3月期	10	00	4 00	6 00	66	9.6	1.0
14年3月期	8	00	4 00	4 00	53	15.4	0.9

(注)15年3月期期末配当金の内訳 記念配当2円00銭、特別配当0円00銭

(3) 財政状態

(-) //3-// 1/10.				
	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期	12,828	6,598	51.4	993 49
14年3月期	12,037	5,916	49.2	891 38

期末発行済株式数 15年3月期 6,626,982株 14年3月期 6,637,343株 (注) 期末自己株式数 14年3月期 15年3月期 15,535株 5,174株

2.16年3月期の業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	_		売 上 高	経常利益	当期純利益		1 株 🖺	当たり年間配当金			
			九 工 同	柱市心里	当规范心里	中	間	期	末		
			百万円	百万円	百万円	P	日 銭	F	円 銭	円	銭
中	間	期	12,000	380	210	4	00				
通		期	24,500	800	440			5	00	9	00

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)

64円 13銭

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。 実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

個別財務諸表等

貸借対照表

	#n mi	11/		#0	24			<i>1</i> :日万円)
	期別	当 (平成 15	5年3月31日	期現在)	前 (平成 14	4年3月31日	期現在)	比較増減
科目		金	額	構成比	金	額	構成比	金額
(資産の部)				%			%	
流動資産								
1. 現金及び預金			221			945		724
2. 受取手形	6		7			30		23
3. 売掛金			5,386			4,280		1,106
4. 製品			355			233		121
5. 原材料			1,669			1,352		317
6. 仕掛品			187			144		42
7. 貯蔵品			27			32		5
8. 前払費用			7			10		3
9. 繰延税金資産 10. 未収入金			158 681			201 613		42 67
10. 未収八玉 11. その他			4			60		56
12. 貸倒引当金			0			2		1
流動資産合計			8,705	67.9		7,903	65.7	802
			0,703	07.3		7,303	05.7	002
固定資産								
1. 有形固定資産		0 407			0.000			
(1)建物	1	2,437	005		2,360	050		45
減価償却累計額 (2)構築物		1,601 149	835		1,509 148	850		15
(2) 悔染物 減価償却累計額		122	26		118	29		2
(3)機械及び装置		1,626	20		1,495	29		۷
減価償却累計額		1,183	442		1,493	416		25
(4) 車両運搬具		1, 103	772		17	710		20
減価償却累計額		12	2		13	3		1
(5)工具器具備品		1,249	_		1,218			-
減価償却累計額		1,074	174		1,022	195		20
(6) 土地	1		1,144			1,100		44
(7)建設仮勘定			27			0		26
有形固定資産合語	it		2,654	20.7		2,597	21.6	56
2. 無形固定資産								
(1) 借地権			7			7		-
(2) ソフトウェア			85			107		22
(3) その他			10	0.0		404	4.0	0
無形固定資産合語	iI		102	0.8		124	1.0	21
3. 投資その他の資産 (1) 投資有価証券			258			271		13
(2)関係会社株式			0			20		20
(3) 出資金			0			0		-
(4) 関係会社出資金			417			393		24
(5) 関係会社長期貸付	寸金		9			44		35
(6)前払年金費用			76			-		76
(7) 繰延税金資産			214			365		151
(8) 保証金			84			91		6
(9) 保険積立金			276			231		45
(10) その他			56			16		39
(11)貸倒引当金	∆ ≟ ⊥		26	40.0		21	44 7	5
投資その他の資産 固定資産合計	南南T		1,366 4,122	10.6		1,412 4,134	11.7	46 11
				32.1			34.3	
資 産 合	計		12,828	100.0		12,037	100.0	791

				440	.,,			立:百万円)
期	別	当 (平成 15	5年3月31日	期現在)	前 (平成 14	4年3月31日	期	比較増減
科目	/	金	額	構成比	金	· 平 5 / 1 5 1 日 額	構成比	金額
(負債の部)			HX	%	312	HA	%	- HX
流動負債				70			, ,	
1. 支払手形	6		241			221		19
2. 買掛金	ŭ		2,544			2,169		374
3. 短期借入金	1		1,710			1,620		90
4. 1年内返済予定長期借入金	1		156			283		127
5. 未払金			566			585		19
6. 未払費用			0			0		0
7. 未払法人税等			191			301		110
8. 未払消費税等			-			87		87
9. 前受金			4			9		4
10. 預り金			21			22		0
11. 前受収益			-			2		2
12. 賞与引当金			347			313		34
13. 製品保証引当金 14. 設備関係支払手形	6		18 52			42		23 45
14. 設備関係又払子形 15. その他	О		10			6 10		45
流動負債合計			5,865	45.8		5,677	47.1	187
/礼勤只读口叫			3,803	45.6		3,077	47.1	107
固定負債								
1. 長期借入金	1		100			89		10
2. 退職給付引当金			-			104		104
3. 役員退職慰労引当金			263			248		15
固定負債合計			363	2.8		442	3.7	78
負債合計			6,229	48.6		6,120	50.8	108
(海中の神)								
(資本の部)						4 456	0.6	4 456
資本金 資本準備金			-	-		1,156	9.6	1,156 1,321
利益準備金			-	-		1,321 46	11.0 0.4	46
その他の剰余金			_	_		70	0.4	70
1. 任意積立金								
(1)別途積立金		_	_		2,685	2,685		2,685
2. 当期未処分利益			_			690		690
その他の剰余金合計			_	-		3,375	28.0	3,375
その他有価証券評価差額金			-	-		18	0.2	18
自己株式			-	-		2	0.0	2
資本合計			-	-		5,916	49.2	5,916
資本金	2		1,156	9.0		-	-	1,156
資本剰余金								
1. 資本準備金		1,356			-			
資本剰余金合計			1,356	10.6		-	-	1,356
利益剰余金		5 0						
1. 利益準備金		50			-			
2. 任意積立金		3,000			-			
3. 当期未処分利益 利益剰余金合計		1,014	4,064	31.7	-			A 064
利益利宗並言計 その他有価証券評価差額金	5		4,064	0.2		-		4,064 28
自己株式	3		20 6	0.2		_	- [20 6
資本合計	J		6,598	51.4			_	6,598
負債・資本合計	•		12,828	100.0		12,037	100.0	791
t						•		

損益計算書

				40				<u> </u>
期	別	当		期	前(中一五	±	期	
			成 14 年 4 月			成 13 年 4 月	I	比較増減
科目			成 15 年 3 月 :			成 14 年 3 月		夕 宛
科目		金	額	百分比	金	額	百分比	金額
 生 L 古			2F 407	400.0		24 450	400.0	2 746
売上高			25,197	100.0		21,450	100.0	3,746
± 1.5.6	•		00 545	00.5		40 457	00.7	0 007
売上原価	2		22,545	89.5		19,457	90.7	3,087
売上総利益			2,652	10.5		1,993	9.3	659
販売費及び一般管理費					_			
1. 販売促進費		0			5			
2. 広告宣伝費		5			5			
3. 発送運賃		111			98			
4. 製品保証引当金繰入額		12			22			
5. 役員報酬		113			108			
6. 給与		436			443			
7. 福利厚生費		91			81			
8. 賞与		71			56			
9. 賞与引当金繰入額		68			66			
10. 退職給付引当金繰入額		27			42			
11. 役員退職慰労引当金繰入額		18			18			
12. 備品・消耗品費		25			29			
13. 減価償却費		53			42			
14. 租税公課		10			7			
15. 賃借料・リース料		16			18			
16. 研究開発費	2	77			46			
17. その他		237	1,379	5.4	238	1,331	6.2	47
営業利益			1,273	5.1		661	3.1	611
			,					
営業外収益								
1. 受取利息	1	3			10			
2. 受取配当金	1	2			18			
3. 為替差益	•	_			6			
4. 経営管理指導料	1	10			11			
5. 保険運用益	•	-			141			
6. 受取出向料		19			-			
7. その他		30	65	0.3	39	229	1.1	164
営業外費用		30	00	0.5	33	223	1.1	104
1. 支払利息		29			39			
2. 手形売却損								
2. 于形元却撰 3. 売上割引		0			1 0			
		0						
4. 貸倒引当金繰入額		5			21			
5. 為替差損		14			-			
6. 棚卸資産廃却損		36			21			
7. 棚卸資産評価損		-			62			
8. 投資有価証券評価損		38			25			
9. 事業保険料		18			<u>-</u>			_
10. その他		46	189	0.8	13	186	0.9	2
経常利益			1,148	4.6		704	3.3	444
[l						

									4 . 0/	3137
	期	別	当		期	前		期		
				成 14 年 4 月	1日		成 13 年 4 月	1日)	比較	増減
			【至 平月	成 15 年 3 月 :	31 日	至 平	成 14 年 3 月	31 日丿		
科	目		金	額	百分比	金	額	百分比	金	額
					%			%		
1	寺別利益									
1	. 固定資産売却益	3	0			4				
2	. 投資有価証券売却益		0			-				
3	. 貸倒引当金戻入益		1			7				
4	. 賞与引当金戻入益		-			30				
5	. 製品保証引当金戻入益		20			-				
6	. 受取補償金		98	119	0.5	35	77	0.3		42
4	寺別損失									
1	. 固定資産処分損	4	19	19	0.1	129	129	0.6		109
	税引前当期純利益			1,248	5.0		652	3.0		
	法人税、住民税及び事業税		361	-		370				
	法人税等調整額		184	545	2.2	61	308	1.4		236
	当期純利益			703	2.8		343	1.6		359
	前期繰越利益			337			373			
	中間配当額			26			26			
	当期未処分利益			1,014			690			
				.,0						

利益処分案

期	IJ		0期		3 9 期
			会開催日		会開催日
		-	6月26日		₣ 6 月 27 日」
科目		金	額	金	額
当期未処分利益			1,014		690
利益処分額					
1. 配当金		39		26	
2. 役員賞与金		15		12	
(うち監査役賞与金)	(2)		(2)	
4. 任意積立金					
(1) 別途積立金		500	554	315	353
次期繰越利益			459		337

重要な会計方針

1.有価証券の評価基準及び評価方法

(1)子会社株式及び関連会社株式・・・移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

時価のあるもの・・・・・・・・決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの………移動平均法による原価法

2.棚卸資産の評価基準及び評価方法

(1)製品・原材料・仕掛品 …… 総平均法による原価法

(2) 貯蔵品 ····· 最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産… 定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 31 年 機械及び装置 5 年

(2)無形固定資産… 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5年)に基づく定額法によっております。

4.外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

- 5. 引当金の計上基準
- (1)貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の 債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員の賞与支出に備えるため、支給対象期間に応じた支給見込額を計上しております。

(3)製品保証引当金

製品クレーム費用の支出に備えるため、発生額を個別に見積ることができる費用についてはその見積額を、その他については、売上高に対する過去の実績比率により計算した額を計上しております。

(4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

なお、会計基準変更時差異については、10 年による按分額を費用の減額処理しております。数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10 年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当期末における要支給額を計上しております。

6. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

- 7. その他財務諸表作成のための重要な事項
- (1)消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

(2)自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準

「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)が平成14年4月1日以後に適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準によっております。これによる当事業年度の損益に与える影響は軽微であります。

なお、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸 表等規則により作成しております。

(3)1株当たり情報

「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が平成14年4月1日以後開始する事業年度に係る財務諸表から適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準及び適用指針によっております。なお、これによる影響については、「1株当たり情報に関する注記」に記載しております。

(表示方法の変更)

損益計算書

前期まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取出向料」は、営業外収益の 100 分の 10 を越えることとなったため区分掲記することに変更しました。なお、前期における「受取出向料」の金額は 13 百万円であります。

注 記事項

(貸借対照表関係)

(貸借対照表関係)	
当期	前期
(平成 15 年 3 月 31 日現在)	(平成 14年3月31日現在)
1 ———	1 担保資産及び担保付債務 (1)担保に供している資産
	建物 353 百万円
	土 地 498 百万円
	計 852 百万円
	(2)上記に対応する債務
	短期借入金 884 百万円
	長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)
	245 百万円
	計 1,130百万円
2 授権株式数及び発行済株式総数	2 授権株式数及び発行済株式総数
授権株式数 24,000,000 株	授権株式数 24,000,000 株
発行済株式総数 6,642,517 株	発行済株式総数 6,642,517 株
3 自己株式	3 —
当社が保有する自己株式の数は、普通株式 15,535	
株であります。	
4 受取手形割引高 139 百万円	4 受取手形割引高 257 百万円
5 配当制限	5 配当制限
貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の金額については、商法第 290 条第 1 項の規定により、配当に充当することが制限されるものであります。	同左
6 ———	 6 期末日満期手形
·	期末日満期手形の会計処理については、手形交換
	日をもって決済処理しております。なお、当期末日
	が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手 形が期末残高に含まれております。
	受取手形 11 百万円
	支払手形 26 百万円
	設備関係支払手形 3百万円
7 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引	 7 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引
銀行 7 行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契	銀行7行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契
約を締結しております。これら契約に基づく当事業	約を締結しております。これら契約に基づく当事業
年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。	年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額
3,560 百万円	4,300 百万円
借入実行残高 760 百万円	借入実行残高 600 百万円
差引額 2,800 百万円	差引額 3,700 百万円

(損益計算書関係)

(按量引导音类) ()	
当 期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)	前 期 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)
1 関係会社に対する営業外収益 受取利息 1 百万円 経営管理指導料 10 百万円	1 関係会社に対する営業外収益 受取利息 3 百万円 受取配当金 16 百万円 経営管理指導料 11 百万円
2 研究開発費の総額 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 138 百万円	2 研究開発費の総額 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 106 百万円
3 固定資産売却益の内訳 工具器具備品 0百万円	3 固定資産売却益の内訳 機械及び装置4 百万円 1 互具器具備品4 百万円 4 百万円計4 百万円
4 固定資産処分損の内訳建物1 百万円機械及び装置5 百万円車両運搬具0 百万円工具器具備品12 百万円計19 百万円	4 固定資産処分損の内訳建物11 百万円構築物0 百万円機械及び装置91 百万円車両運搬具0 百万円工具器具備品26 百万円計129 百万円

(リース取引関係)								
当期				前期				
(半成	(平成14年4月1日~平成15年3月31日)				(平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)			
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以 外のファイナンス・リース取引			リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以 外のファイナンス・リース取引					
1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 (単位:百万円)			1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 (単位:百万円)					
	取得価額相 当額	減 価 償 却 累 計 額 相 当 額	期末残高相当額		取得価額相 当額	減 価 償 却 累 計 額 相 当 額	期末残高 相 当 額	
建物	10	6	3	建物	10	4	5	
機 械 及 び 装 置	158	106	51	機 械 及 び 装 置	195	183	11	
車両運搬具	6	1	5	車両運搬具	8	4	4	
合 計	175	114	61	合 計	214	192	21	
2. 未経過リース料期末残高相当額 1 年 内 55 百万円 1 年 超 6 百万円 合 計 62 百万円 3. 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額支払リース料 34 百万円減価償却費相当額 29 百万円支払利息相当額 3 百万円 支払利息相当額 3 百万円 4. 減価償却費相当額の算定方法リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする			支払利息相当額 2 百万円 4. 減価償却費相当額の算定方法					
定額法によっております。 5. 利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との 差額を利息相当額とし、各期への配分方法について は、利息法によっております。				5. 利息相当額の算定方法 同 左				

(有価証券関係)

当期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)及び前期(平成13年4月1日~平成14年3月31日) 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

	効果会計関係)						
当一,期			前期				
	(平成 15 年 3 月 31 日現在)			(平成 14 年 3 月 31 日現在)			
1.	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の 内訳			繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の 内訳	の主な原因別の		
	繰延税金資産 (流動)			繰延税金資産 (流動)			
	賞与引当金	121 百万円		賞与引当金	86 百万円		
	未払事業税	17 百万円		未払事業税	27 百万円		
	製品保証引当金	7 百万円		製品保証引当金	17 百万円		
	棚卸資産評価損	7 百万円		棚卸資産評価損	25 百万円		
	その他	4 百万円		未収補償金	40 百万円		
	合計 	158 百万円		その他	4 百万円		
				計 	201 百万円		
	繰延税金資産(固定)			繰延税金資産(固定)			
	減価償却費損金算入限度超過額	117 百万円		減価償却費損金算入限度超過額	136 百万円		
	有価証券等評価損	62 百万円		有価証券等評価損	45 百万円		
	役員退職慰労引当金	104 百万円		退職給付引当金超過額	42 百万円		
	その他	56 百万円		役員退職慰労引当金	102 百万円		
	<u> </u>	341 百万円		その他	50 百万円		
	評価性引当金	75 百万円		計	378 百万円		
	差引	266 百万円					
	繰延税金負債(固定)			繰延税金負債(固定)			
	前払年金費用	30 百万円		その他有価証券評価差額金	12 百万円		
	その他有価証券評価差額金	22 百万円					
	小計	52 百万円					
	繰延税金資産(固定)の純額 	214 百万円		繰延税金資産(固定)の純額	365 百万円		
2 .	法定実効税率と税効果会計適用後の法率との間に重要な差異があるときの、 因となった主要な項目別の内訳		2.	法定実効税率と税効果会計適用後の法率との間に重要な差異があるときの、 因となった主要な項目別の内訳			
	法定実効税率 (調整)	41.1%		法定実効税率 (調整)	41.1%		
	交際費等永久に損金にされない項目	0.5%		交際費等永久に損金にされない項目	1.0%		
	住民税均等割等	0.7%		住民税均等割等	1.3%		
	繰越欠損金の引継ぎ額	5.4%		修正申告納税額	2.7%		
	一次差異から永久差異へ変更	5.9%		外国税額	1.2%		
	実効税率変更分	0.7%		税効果会計適用後の法人税等の負担率	47.3%		
	外国税額	0.4%					
	その他	0.2%					
	税効果会計適用後の法人税等の負担率	43.7%					
3.	法人税等の税率の変更による繰延税金税金負債の金額の修正 固定の部の繰延税金資産及び繰延利に使用した法定実行税率は、前期39.7%であり、当事業年度における利り、繰延税金資産の金額(繰延税金資除した金額)が7百万円減少し、当時上された法人税等の金額が同額増す。	税金負債の計算 41.1%、当期 税率の変更によ 負債の金額を控 事業年度に費用	3.				

(1株当たり情報)

(「休当だり情報)			
当	期	前	期
(平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15	年3月31日)	(平成13年4月1日~平成	14年3月31日)
1 株当たり純資産額 1 株当たり当期純利益	993 円 49 銭 103 円 78 銭	1 株当たり純資産額 1 株当たり当期純利益	891 円 38 銭 52 円 96 銭
なお、潜在株式調整後1株当た については、新株引受権付社債及 していないため記載しておりません	び転換社債を発行	同左	
当事業年度から「1株当たり当会計基準」(企業会計基準第2号) 当期純利益に関する会計基準の適所 基準適用指針第4号)を適用してお なお、同会計基準及び適用指針 用して算定した場合の1株当たり 以下のとおりとなります。	及び「1株当たり 用指針」(企業会計 ります。 を前事業年度に適		
1 株当たり純資産額 1 株当たり当期純利益	889 円 57 銭 51 円 11 銭		
なお、潜在株式調整後1株当た については、潜在株式が存在しな りません。			

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(圧)「ボコルノコ州が中世の井た工の圣には、外下のとのうでのうなり。						
当	期	前	期			
(平成 14年4月1日~平成15年3月31日)		(平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)				
当期純利益 普通株主に帰属しない金額 (うち利益処分に係る役員賞与金) 普通株式に係る当期純利益 期中平均株式数	703 百万円 15 百万円 (15 百万円) 688 百万円 6,632 千株					

役員の異動

- 1.代表者の異動 該当事項はありません。
- 2. その他役員の異動
- (1)退任取締役

常勤取締役 林 邦雄(平成15年3月31日付)